

重点政策（政策評価）の見方

重点政策 5

世田谷の文化の創造と知のネットワークづくり

重点政策名を記載

(1) 政策目的

文化・芸術・歴史・スポーツを多世代で楽しむ都市をめざします。

基本計画における重点政策を達成するため、当政策が目指す姿を記載

(2) ロジックモデル

アウトプット (新実施計画事業)	取組み方針	アウトカム (成果指標)	インパクト (政策目的)
308 文化・芸術・歴史資源の魅力発信と子どもの創造性の育み (p256) 生活文化政策部	区民が生涯を通じて学び、文化・芸術・歴史に親しめる環境づくり	1. 文化・芸術に親しめる環境の区民満足度 2. 成人の週1回以上のスポーツ実施率	文化・芸術・歴史・スポーツを多世代で楽しむ都市をめざす。
315 まちなか観光の推進 (p296) 経済産業部			
213 知と学びと文化の情報拠点としての新たな図書館の創造 (p211) 教育委員会事務局	多世代が集う図書館を情報拠点とした、文化の創造と知のネットワークづくり		
309 地域での生涯を通じたスポーツの推進 (p262) スポーツ推進部	総合型地域スポーツ・文化クラブの新規設立や既存クラブの支援、障害者スポーツの推進など、だれもが		

「重点政策を構成する新実施計画事業」、「4年間の取組み方針」、「成果指標」、「政策目的」を体系化し、政策目的の達成に至るまでの道筋を記載

(3) 政策の成果

成果指標	策定時 平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 3 年度 (2021 年度) 目標	令和 3 年度 (2021 年度) 目標に対する 達成状況
1. 文化・芸術に親しめる環境の区民満足度	政策の成果を測る成果指標及び令和3年度目標に対する達成状況を記載						.2%
2. 成人の週1回以上のスポーツ実施率	47.3%	42%	51.6%	45.5%			14.2%

・令和3年度目標に対する、当該年度実績の達成状況（目標に対する進捗率）を記載原則、以下の計算式で算出している。
 （当該年度の実績 - 計画策定時の値） / （令和3年度目標 - 計画策定時の値）
 実績が計画策定時の値を下回っている値は「（マイナス）」で記載
 小数点以下第2位を四捨五入
 ただし、±1,000%以上のものについては「 」で表示

・令和3年度目標に対する、当該年度実績の達成状況（目標に対する進捗率）において、原則、75%以上を達成している場合は、75%未満の場合は を記載

重点政策（政策評価）の見方

(4) 成果の達成度に対する評価等

1) 横断的連携の取組みに対する評価

区内外への文化・芸術の魅力の発信（生活文化政策部、経済産業部）	
連携の内容	4 か国語のせたがや文化マップを発行し、三軒茶屋観光案内所や区内の観光情報コーナー、東京都庁の東京観光情報センターなどに配架した。また、観光ホームページ「エンジョイ！SETAGAYA」（世田谷区産業振興公社）で多言語版のせたがや文化マップを掲載した。
成果	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外国人をはじめとする観光客に向けた発信は困難となったが、デジタル媒体の活用により文化・芸術の魅力発信に繋げることができた。
課題・今後の進め方	冊子の発行をはじめ、ホームページでの周知、世田谷デジタルミュージアムへの掲載を行っているが、より多くの人に知ってもらうため、さらにさまざまなデジタルコンテンツを活用し、情報発信の充実を図る。
郷土を知り次世代へ継承する取組み（教育委員会事務局、政策経営部、生活文化政策部、経済産業部、都市整備政策部、みどり33推進担当部）	
連携の内容	a) 「せたがや文化マップ vol.5」の巻末に世田谷デジタルミュージアムの二次元コードを掲載した。 b) 世田谷区の地域資源を活かした事業のあり方検討を踏まえ、せたがや文化財団の事業を活用し、乳幼児を対象とした文化・芸術体験事業について、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ事業内容を選択して実施した。
成果	a) 当該マップを刊行し、区内公共施設のほか産業振興公社と連携して、三軒茶屋観光案内所等に配架することにより区の歴史・文化などの魅力を紙媒体により効果的に発信できたことに加え、二次元コードの掲載により、デジタル媒体も活用しそれらを効果的に発信できた。 b) 乳幼児が文化・芸術に触れ、非認知的能力を育むための環境づくりの一環となった。
課題・今後の進め方	a) 引き続き、世田谷デジタルミュージアムを活用し、区の歴史・文化に興味・関心が薄い層へのアプローチ
政策の推進に向け、新実施計画（後期）で掲げた横断的連携により進められる取組みについて、「連携の内容」、「成果」、「課題・今後の進め方」を記載	

2) 参加と協働の取組みに対する評価

区民と協働して世田谷の魅力を発信するせたがや歴史文化物語の取組み	
協働の内容	区内の文化財群と周辺環境を一体的に捉え、「せたがや歴史文化物語」として平成30年度に区民とのワークショップにより17のテーマを設定した。令和2年度は「等々力溪谷」及び「野毛大塚古墳」のテーマから、歴史や文化財の魅力など区民が求める情報や効果的な伝え方をワークショップで実施し取りまとめた。
成果	歴史や文化財の魅力など区民が求める情報を抽出して、より優れたわかりやすい冊子を作成し、区内文化施設や観光関連施設等で配布した。紙媒体での情報発信に加え、世田谷デジタルミュージアムを活用したデジタル媒体での情報発信を行うことにより、複数の媒体で世田谷の歴史や文化財を伝えることができた。
課題・今後の進め方	冊子による情報発信のほか、さらに歴史文化の継承を図るためインターネットでの情報発信の強化を進
政策の推進に向け、新実施計画（後期）で掲げた区民・事業者との参加と協働により進める取組みについて、「協働の内容」、「成果」、「課題・今後の進め方」を記載	

重点政策（政策評価）の見方

3) 成果の達成状況に対する評価及び今後の政策展開

各成果指標の達成状況

文化・芸術に親しめる環境の区民満足度については、前年度より3.5ポイント上昇したものの、目標策定時を下回る状況が続いており、成果が不十分であった。

成人の週1回以上のスポーツ実施率については、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛、スポーツ施設の休館やイベントの中止等により、前年度より6.1ポイント低下し、令

各成果指標の「令和3年度（2021年度）目標に対する達成状況」を踏まえた評価を記載

各取組みの達成状況

区民が文化・芸術・歴史に親しめる環境づくりについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により文化施設等の休館やイベントの中止が続く中、区立文化施設において、オンラインを活用した講座やイベントの動画配信など、さまざまな工夫により事業を実施し、制限のある生活の中で区民が文化・芸術に触れ、楽しむ機会を広め、文化施設の存在感を示すことができた。

知と学びと文化の情報拠点としての図書館の充実においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による臨時休館やイベントの中止等により、図書館利用が大幅に制限される中、段階的なサービス再開や予約資料宅配、電子書籍導入等のサービス拡充、参加人数を制限してのイベント実施等の方策を実施したが、計画どおりの成果を達成することはできなかった。

だれもがスポーツに親しめる機会の創出に向けては、大学や企業と連携し、オンライン機能の活用や感染症対策を講じながら、障害者スポーツの実施機会の拡充、普及啓発を図ることができた。また、総合型地域スポーツ・文化クラブについては、学校や地域へクラブの目的や活動内容を周知する等、地域住民が自主運営しやすくする環境づくりや、活動拠点の学校に地域の民が参加する機会を創出することができた。

各取組みの達成状況を踏まえた評価を記載

新規クラブ設立については、地域住民や学校めだが、新規設立には至らなかった。

課題と今後の政策展開

区民が広く文化・芸術・歴史に親しめる環境づくりに向けては、コロナ禍の経験を踏まえ、新たな手法による事業展開やさまざまなデジタルコンテンツを活用した情報発信の充実を図る等、より多くの区民が世田谷の文化・芸術・歴史の魅力を身近に感じられるような取組みを行い、満足度の向上を図る。

多世代が集う図書館を情報拠点とした、文化の創造と知のネットワークづくりに向けては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による臨時休館等の経験を踏まえ、図書館サービスの継続手法や非来館型の新規・代替サービス等の検討を進め、より多くの区民が安心して図書館を利用できるような取組みを行い、成果の向上に繋げていく。

だれもがスポーツに親しめる機会づくりのため、総合型地域スポーツ・文化クラブの新規設立に取り組んでいるが、趣旨や目的の明確化、設立の進め方について地域住民や学校等の共有を図ることが課題である。今後も地域人材の育成や地域資源の掘り起こしを積極的に進めながら、参加と協働を促進していく。

各成果指標や取組みの達成状況を踏まえた政策の目的達成に向けた課題と今後の政策展開を記載